

公民 活動例C 「地方自治」

(1) 学習単元と具体的な学習内容

学習単元：内容（3）イ

○国民の政治参加

具体的な学習内容

○地方自治の基本的な考え方

(2) 目標

①社会科としての目標

- ・身近な社会の諸問題に着目し、主体的に考え、よりよい社会を築いていこうとする態度を育てる。
- ・身近な地域を取り巻く社会問題をより良く解決するためには地域住民の自治意識が必要であることを理解させる。

この単元は、学習指導要領社会科の公民的分野目標（2）「民主政治の意義，国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。」に対応している。

来日過程や家族の経済的基盤の違いによって多少の差は見られるが、外国人生徒は普段の社会生活において、住民としての地域コミュニティ内での活動に消極的になりがちであり、結果的に日本の自治を基本とする政治全般について受け身にさせられている。地域生活の環境をより良く改善させていこうとする視点を身に付けることやその手だてを知識として持つことは、日本を母国とする者にとっても共通の問題として認識できるという意味で重要である。

この学習では、「自治」という日本語の持つ意味を理解しながら、その「自治」をすすめていくための「多数決の原理」「納税の義務」「議会政治」「住民の権利」が身近な問題に対してどう位置づけられているかを概観する。

②身に付けさせたいスキル

- ・自分の意見を日本語で述べるスキル。
- ・断片的な思考から多角的に考えるスキル。

③身に付けさせたい日本語のスキル

- ・関わりを表す表現を使って、簡単に表すスキル。
- ・用語の意味を類推するスキル。

(3) 対象とする生徒のイメージ

経験知識	小学校での社会科は一通り授業に参加してきた。そのため、学習経験や人名など記憶に残っている部分もあるが、その量は少ない。
日本語の力	個人的な経験に関わる、短い会話から要点を聞き出すことができる。しかし、ゆっくりした話し方や1対1の対話、身近な話題でなければ難しい。また、個人的な情報について何かを訪ねたり、簡単な質問に答えたりする場面では、1対1であれば予測可能で簡単なやりとりができる。

(4) 学習の流れと参加支援の例 (全体の時間数 4 時間程度)

	在籍学級における学習活動例	学習への参加を促すための支援の例
つかむ	①身近な社会問題を通じて、地方自治が住民参加のもとで地域の実情に合わせて行われていることをつかむ。	○地図を利用して、生徒の実生活に関連のある問題（横断歩道や信号機がないために毎朝、大回りをして登校しなければならない）を例示し、地域の問題を身近なものとしてとらえさせる。
ひろげる	②①で考えた例を元に、地域の問題を解決する手段として民主制が取り入れられていることを理解する。	○例示した交差点に長い間、信号が付かなかった理由を、ブレインストーミングで自由に話させる。 ○生徒の発言を適切な表現で書いて示し、それを利用して文章化させる。
ひろげる	③地方自治の仕組みや問題点について概観し、以降の学習の流れをつかむ。	○①で例示した課題を分類する中で、「間接民主制」の仕組みやそのルール、財政上の問題点や市町村合併に見られる地方分権化の意味や地方行政の組織について簡単に紹介し、大まかな理解を促す。 ○「自治」の意味について話し合わせ、それを教師がまとめる。
ひろげる	④地方公共団体の行う行政サービスの内容とサービスを行う組織について知る。	○具体例として消防や警察などのサービスを企業が行うとどのような問題点が起こるかについて、話し合わせ、身近な問題としてとらえさせる。
ひろげる	⑤地方公共団体が抱える財政上の問題点を理解し、その問題を解決する手段として地方分権化が進んでいることを理解させる。	○国や地方が抱えている債務の状況を金額で示し、自分のこづかいと比較したり、母国の通貨単位に換算したりさせる。それによって、問題の大きさや危機的状況をイメージさせる。
まとめる 発信する	⑥より良い自治が行われるために住民の権利や義務が位置づけられていることを知り、地域住民として、普段の生活の中で意識すべきことをまとめる。	○「政治離れ」について知らせ、安全で暮らしやすい地域をつくるために、住民の政治参加が重要であることを話し合わせる。 ○「政治離れ」については、選挙の投票率の推移のグラフを読み取らせて理解させる。

※網掛け：(5) 指導案で示す授業

(5) 指導案

①本時の目標

身近な社会問題について考えることを通して、地方政治の仕組みや問題点について概観し、以降の学習の流れをつかませる。

②本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点、★教材	○日本語支援（タイプ）
導入	<p>①日本の道路事情や自動車の交通量の多さについて感想を出し合う。</p> <p>②資料を見て、信号機を取り付けた方が良くと思われる交差点をその理由とともに挙げる。</p>	<p>○母国の交通法規や道路の広さ、交差点の数などと比較させる。</p> <p>○資料を見比べて、自分がAさんになったつもりで考えさせたい。</p> <p>★資料1</p>	<p>○自宅や学校付近の住宅地図を見せる。</p> <p>【理解】</p> <p>○生徒の実生活上の問題（横断歩道や信号機がないために毎朝、大回りをして登校しなければならない）を例示する。【理解】</p>
展開	<p>③なぜ、その交差点に今もなお、信号機が付いていないのか、その理由をブレーンストーミング法で考える。</p> <p>④国道に信号機が設置されるまでの流れについて考える。</p>	<p>○思いつかない場合は、キーワードを挙げたワークシートを配布する。</p> <p>★ワークシート</p> <p>※意見が多く出た場合はその意見の内容をワークシートのキーワードに沿って整理する。</p> <p>○信号機が設置されるまでを段階的に説明した4枚のカードを、順序よく並ばせる。</p> <p>★資料2</p> <p>○一つの問題を解決するだけでも、多くの段階を経なければならないことを強調する。</p>	<p>○すぐに活動に入れない場合は、教師と生徒との会話の中で出てくる回答を教師が取り上げ、ワークシートへの記入を促す。生徒の状況に応じて発言を教師がメモ用紙に書き留める。</p> <p>【表現】</p> <p>○専門用語は平易な言葉で言い換えたり具体例を示したりする。</p> <p>【理解】</p>
まとめ	<p>⑤今後勉強していく「自治」の定義を日本語で作成する。</p> <p>⑥③の活動で分類した</p>	<p>○教科書や日本語辞典等の記述と比較して確かめる。</p> <p>★ワークシート</p> <p>○意見の分類の活動を通して、現</p>	<p>○「自」「治」の各文字の意味を確認して、意味を類推する。</p> <p>○話し言葉で表現させ、生徒が語った断片的な語句を板書し、生徒に文章として再構成させる。【表現】</p> <p>○分類時に、それぞれ</p>

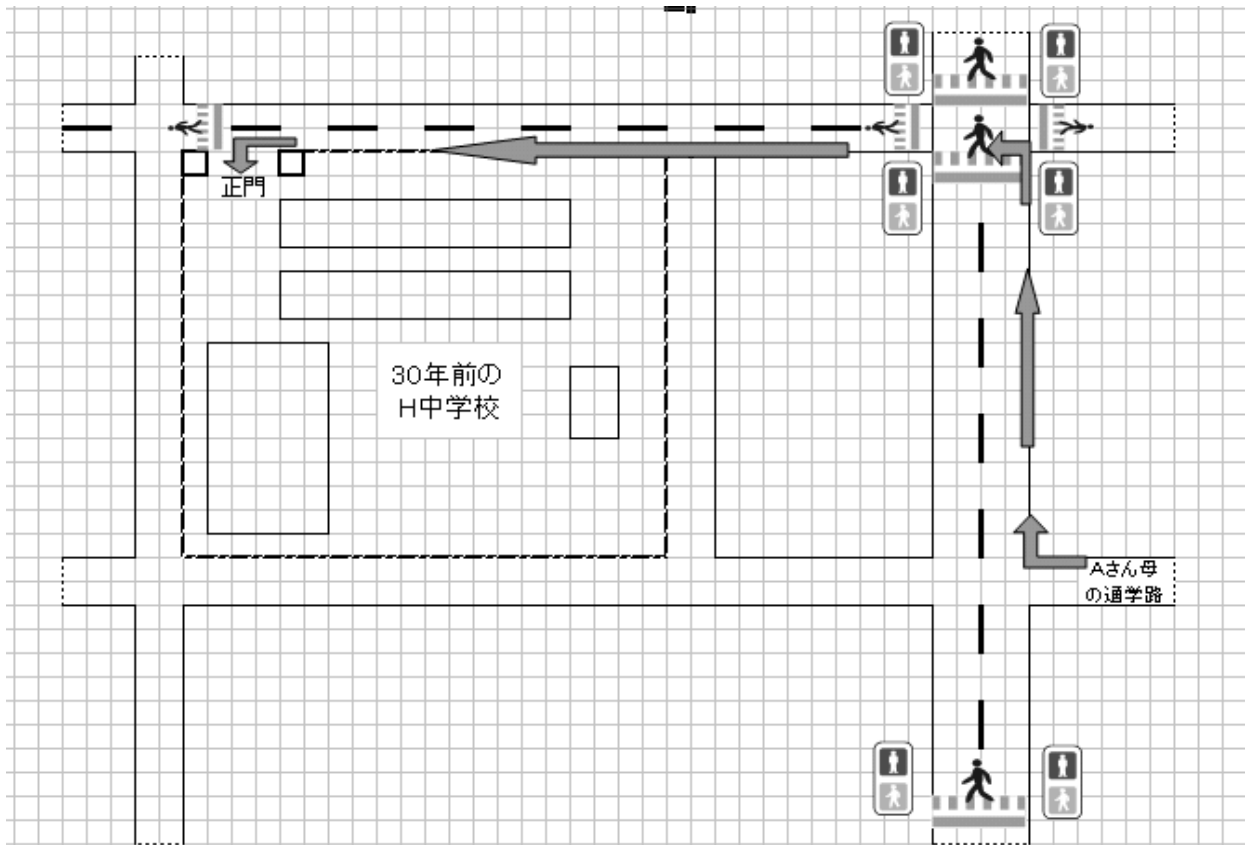
<p>意見を振り返りながら、地方自治について今後、学習する内容をまとめる。</p>	<p>在の日本の地方政治が自分たちの手で自分たちの地域を住みよい環境にすることができるような仕組みになっていることに気づかせる。</p> <p>○その一方で、現在の中学生にとって「自治」が遠い存在である理由について考えさせる。</p>	<p>の意見が日本の地方自治のシステムに関連することを平易な表現で説明する。</p> <p>○内容理解を重視し、用語そのものについては聞かせる程度で扱う。</p> <p>※教科書を読んでその記述と生徒の意見を結び付けても良い。</p>
<p>○「気付かない」などの意味は、以下の通りである。</p> <p>「気付かない」… 住民の自治意識の大切さ</p> <p>「新たな問題」… 間接民主制，審議による意見交換の重要性</p> <p>「優先順位」… 多数決の原理と少数意見の尊重，行政組織の複雑さと地方分権への流れ</p> <p>「足りない」… 地方財政の問題点</p>		

〈キーワード〉「自治」・「地方自治」

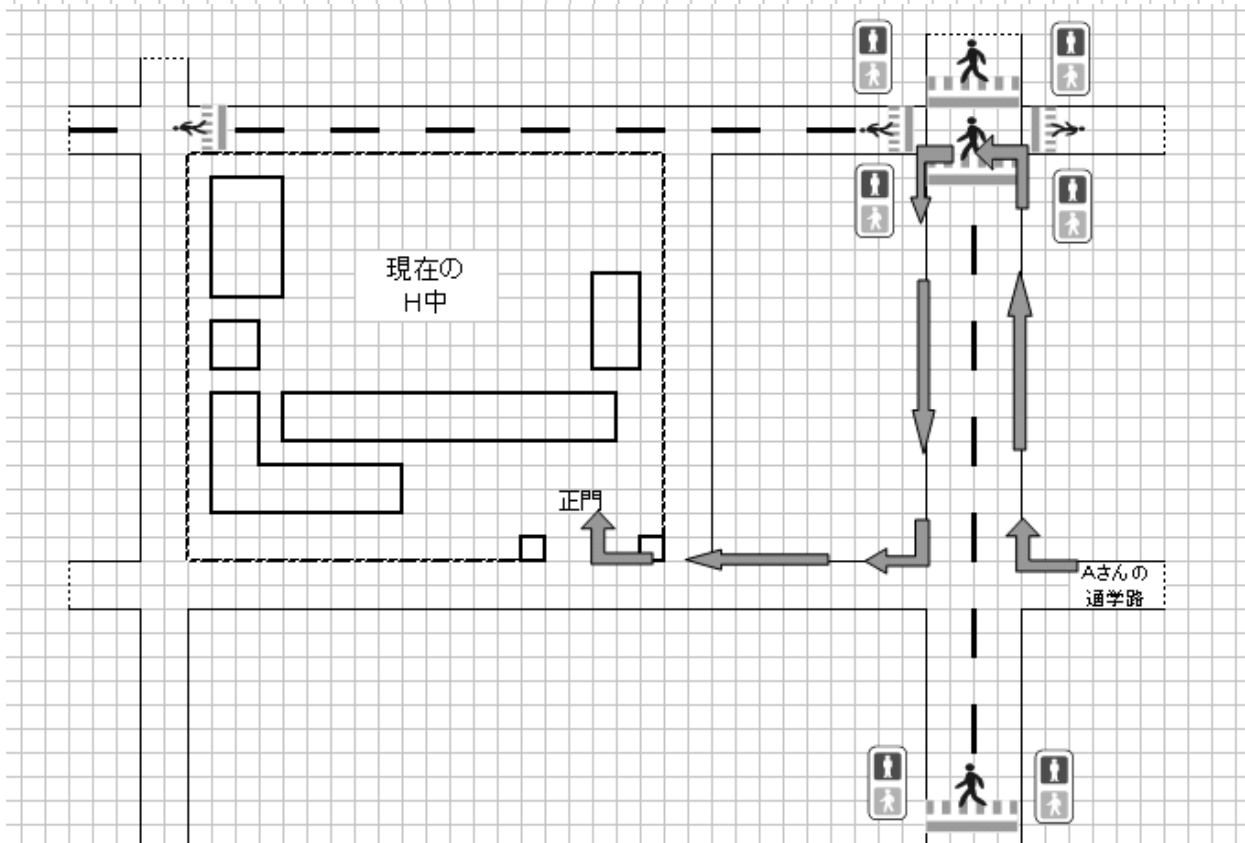
(6) 教材・教具、問いかけ・応答の例

<p>T: 危険なのに信号機が付かないのは、(だれが、) 何に「気付かない」からだと思いますか？</p> <p>S: H中学生じゃない人は、信号機がなくて困っていることに気付かないからだと思います。</p> <p>T: 危険なのに信号機が付かないのは、何が「足りない」からだと思いますか？</p> <p>S: お金が足りないからだと思います。／ 関心が足りないからだと思います。</p> <p>T: 危険なのに信号機が付かないのは、(そこに信号機を付けると) どんな「他の問題」がおこるからだと思いますか。</p> <p>S: 自動車を運転する人は信号機ばかりになってしまい、車が渋滞すると思います。</p> <p>T: 最後に、少し難しいのですが、信号機が付かない理由のヒントとして、日本語でいう「優先順位」というものが関係しています。「優先順位」というのは英語でいうと「the order of priority」ポルトガル語でいうと「a orden de prioridade」スペイン語でいうと「el orden de prioridad」韓国語でいうと「우선 순위」そして、ドイツ語では「die dringlichkeitsstufe」ということです。</p> <p>S: ほかにもっと危険な交差点がたくさんあるということではないかと思います。</p>

《資料1》(今から25年前:Aさんの お母さんが 中学2年生の ころ)



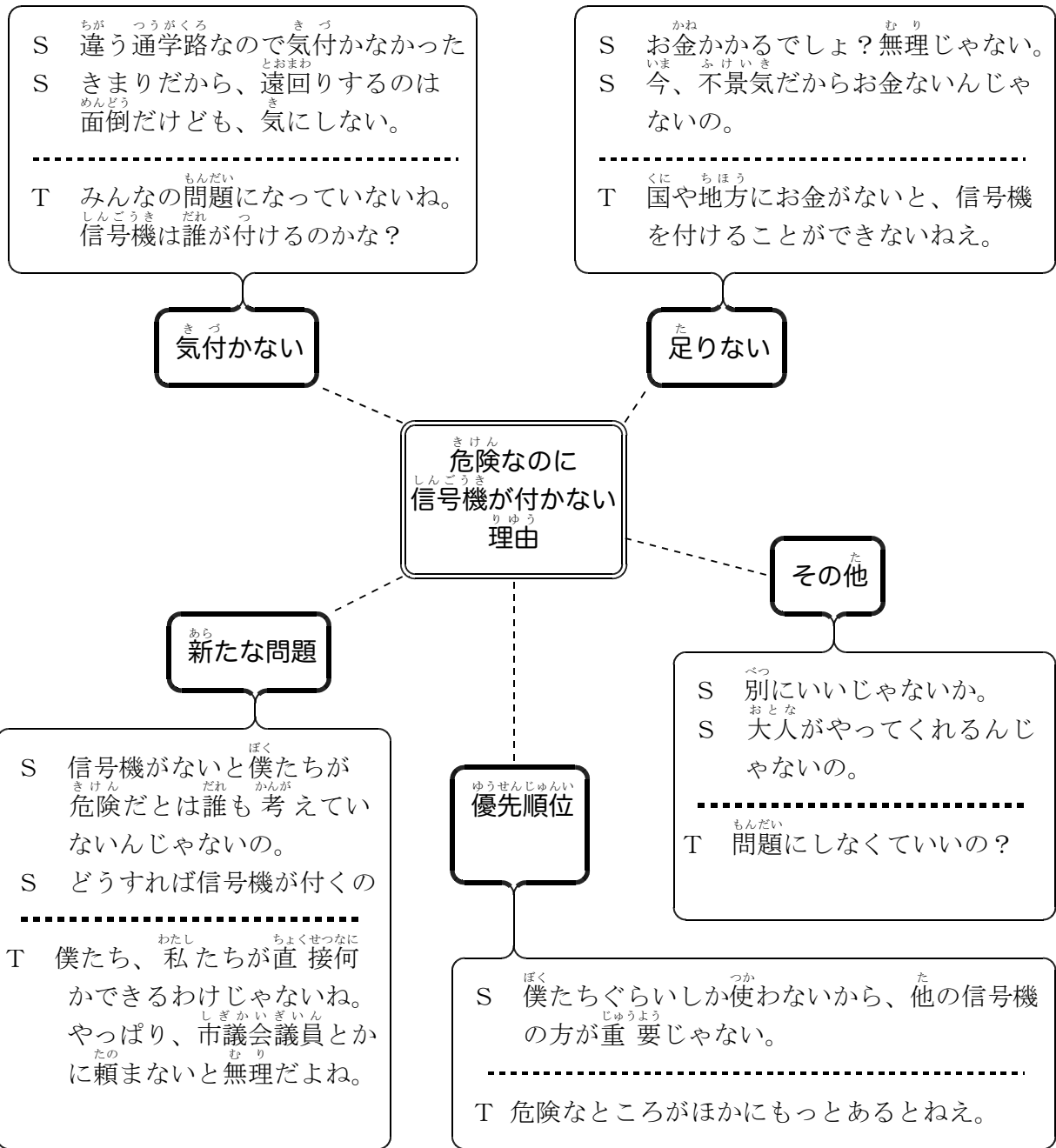
25年前 校舎を 建てかえた H中学校は 正門の位置が 変わりました。
それから ずっと 通学路には 問題点が あります。わかりますか？



《ワークシート》

○自分の意見を分類してみよう。

【予想される生徒からの解答例 生徒…S、教師による言い換え…T】



○ これからの授業で学ぶ、地方自治の「自治」（じち）ってどんな意味の言葉か自分の言葉でまとめよう。

[解答例] ↓

ほかの人が困っているようなことについて、面倒だとか言っていないで、自分たちの問題なのだから、解決していこうとすることなのじゃないかと思います。

「自」…自立（ほかのひとにたよらず、自分の力で生活すること）
 「治」…治安（よのなかをやすらかにおさめること = へいわにすること）

《資料2》^{しんごうき}信号機が設置されるまでをまとめよう
(1機100万円程度+毎年の電気代)

○下の4枚のカードを、順を追って並べかえてみよう。

自分が暮らす地域の
自治会や学校などを
中心に、信号機を付
けることについて
住民の同意をもらう。

自治会や学校など
を中心に、市役所
(地方公共団体)に
要望書を提出する。
(市議会議員さんなど

市役所が、市内で提
出された要望書をと
りまとめ、地域の
警察署へ提出し、ど
こに付けるのがよい
か優先順位や必要経費
などを話し合う。

信号機を付ける道路
が、国道の場合は、
地域の警察署が、
県警察へ報告し、県
庁と県警察とが話し
合って決定する。

【ひとくちメモ】

現在、信号機を付けてほしいという要望が、たいへん多い状態です。また、信号機を付けるには、おおくのお金がかかり、毎年の予算には限りがあることから、要望が出てから信号機が付くまでおおくの年数がかかるのが現状です。

